

会社概要

2018年3月31日現在

| | |
|---|--|
| <p>商 号 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社 (英文名: TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)</p> <p>設 立 2010年4月1日</p> <p>事業内容 テクノホライゾングループの事業内容は「光学事業」と「電子事業」に分類され、テクノホライゾン・ホールディングス株式会社は傘下の事業会社の経営管理を行っております。</p> <p>所 在 地 〒457-0071 愛知県名古屋南区千竜通(チカマトオリ)二丁目13番地1 TEL. 052-823-8551(代)</p> <p>代 表 者 代表取締役社長 野村 拓伸</p> | <p>資 本 金 25億円</p> <p>従 業 員 数 12名(連結865名)</p> <p>主要子会社 株式会社エルモ社 株式会社中日諏訪オプト電子 株式会社タイテック</p> <p>ホームページ http://www.technohorizon.co.jp</p> |
|---|--|

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

テクノホライゾングループ第8期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたりましてご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外経済は米国の政権の政策や欧州の政治情勢に対する懸念は依然として残るものの、総じて回復基調が継続しました。

このような経済状況のもと、当社グループは「教育」「F A (Factory Automation: 工場自動化)」「医療」「安全・生活」分野を重点市場とし光学事業と電子事業を融合したユニークな企業グループとして事業拡大を図っております。また、連結子会社の吸収合併等再編を進め、より経営効率の高いグループ連結経営へとベクトルを統一させ、企業価値の最大化を目指しております。その結果、当社グループの業績は、売上高19,398百万円(前連結会計年度比3.4%減)となりました。利益面では、利益率の改善や販売費及び一般管理費の削減が進んだ結果、営業利益は1,000百万円(前連結会計年度比110.5%増)、為替差益118百万円計上により経常利益1,110百万円(前連結会計年度比198.2%増)となりました。また、子会社の固定資産譲渡の決定に伴い減損損失を198百万円計上したものの、一方で土地評価に係る繰延税金負債の取り崩しにより法人税等が93百万円減少したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は764百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失148百万円)となりました。



代表取締役社長 野村 拓伸

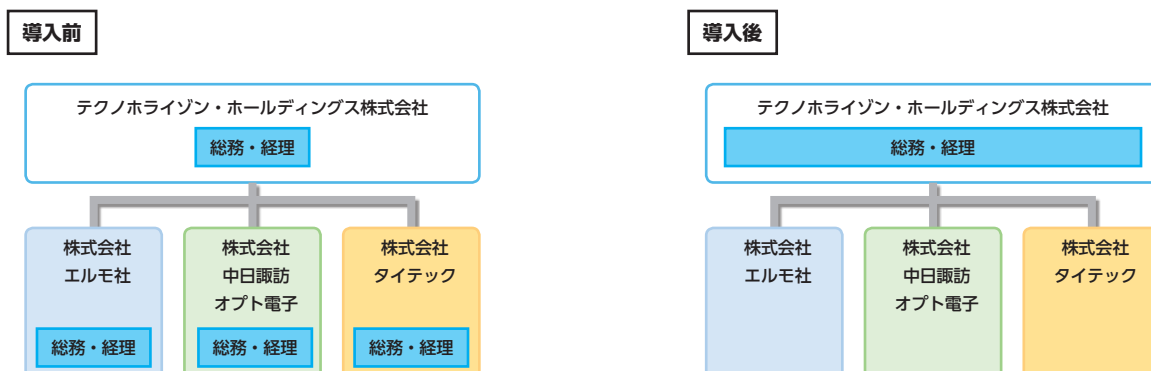
なお、今後も更なるグループ内組織再編を進め、選択と集中による経営効率を高める活動を進めてまいります。

株主の皆様には引き続きテクノホライゾングループへの変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

管理業務を集約するシェアードサービス導入

グループ全体の管理業務の効率化を目的として、当社内にグループ各社の総務、経理等の業務を集約するシェアードサービスを導入して推進いたします。

【シェアードサービスの概念図】



テクノロジングループの動き

教育

1,300万画素の高精細A4サイズのコンパクト書画カメラMX-P



文部科学省では、書画カメラは実物投影装置として「小学校、特別支援学校の普通教室及び特別教室への常設」と示されています。そうした中、書画カメラのリーディングカンパニーであるエルモ社では、1,300万画素の高精細画質、高フレームレート、シンプルなインターフェースで誰でも簡単接続、小型で持ち運びにも便利、更に低価格帯でこれまで以上に多くの台数を整備いただける書画カメラ「MX-P」を発売しました。



次世代4K書画カメラPX-30/PX-10



近年、スタンダード型書画カメラは、大学の講義室、企業の会議室、病院における治療方針会議等での実物資料の提示に使用されています。また、高画質TV会議システムへの接続による遠隔地からの実物確認等、情報共有ツールとしても活用されています。そうした中、エルモ社では資料提示用ステージとカメラが一体化したスタンダード型次世代4K書画カメラ「PX-30/PX-10」を発売しました。



FA

FA製品に特化した新ブランド「ITANZI」



タイテックの主力事業分野である「FA」においては、労働人口減少に伴う自動化の推進、AIを活用したビジネスモデルの構築等、さまざまな変革が驚異的な速度で進んでいます。そのような環境下において、ありきたりの製品やサービスでは満たされないニーズまで追求し、常にユーザーにフィットするソリューションを提供する新ブランド「ITANZI」を立ち上げました。



FA装置への搭載を想定した、超小型カメラ「roboVIEW」



昨今の、工場の自動化や装置のAI化に伴い、FA機器にカメラを取り付ける要望が急速に増えています。そのニーズに応えるべく、超小型で、かつFA環境で対応可能な新製品カメラ「roboVIEW」を発売しました。このカメラは超小型サイズなため、ロボットの先端や装置の中等、さまざまな場所に複数台の取り付けが可能で、画像処理やAI用カメラとして使用できます。



業界最小クラス 超小型サーボドライバ microD mD-4/mD-10



産業ロボットは自動車のような重たいものを扱う産業から、より小型のものを大量・高速かつ精密に扱う分野に広がっています。協働ロボットにみられるようにロボットの小型・軽量化も進んでいます。タイテックが長年培ったサーボドライバ技術を用いてロボット内に組み込み可能な軽量かつコンパクトなサーボドライバを発売しました。



製造業の現場・管理・工場経営を全体最適に導く「ファクトリーマネジメントソリューション」シリーズ第二弾

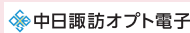


近年、IoT技術の進展により、製造現場、特に製造設備からのデジタルデータの収集は、各現場で意欲的に取り組まれています。デジタルデータ化技術の進展に伴う「現場のリアルタイムデータ取得」と「その見える化」による新しい工場経営マネジメントソリューションとして、アプリケーションの提供を開始しました。

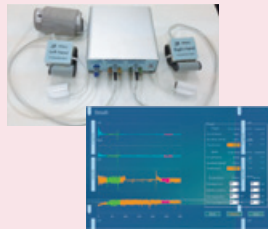


医療

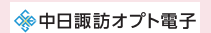
血管機能検査装置



心筋梗塞や脳卒中等の疾患を引き起こす原因となる生活習慣病は、初期症状として血管内皮機能が低下します。中日諏訪オプト電子では、国立大学法人 富山大学より提案されている測定方法「f-PRAS方式」を用いて、血管内皮状態を検査する装置を開発しました。この開発は、富山大学、株式会社TAOS研究所との共同研究にて行っています。



モバイル型動脈硬化診断装置

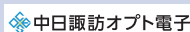


生活習慣によって、コレステロールや中性脂肪により動脈にプラークが生成され、血管の弾力性や柔軟性が失われて心筋梗塞や脳卒中等の疾患を引き起こす原因となります。中日諏訪オプト電子では、超音波ドップラーを用いて血流速度波形のパターンを解析することで動脈硬化を検査する装置を開発しました。この開発は、国立大学法人 徳島大学との共同研究にて行っています。



安全生活

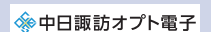
LTE、GPSを搭載した車載IoT端末 Platinum BOX



運送業界では、人手不足が深刻化しており、業務の効率化が喫緊の課題で、ビッグデータへの関心が高く、実際に活用され始めています。Platinumは、BOX、LET、GPS、WiFi、BLE、CAN等のさまざまな通信手段を搭載しており、軽量器等さまざまな車載機器と接続して車両データを収集・蓄積し、クラウドへ送信することができます。



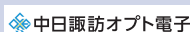
モバイル決済対応決済端末「FP-1」による中国電子決済「アリペイ」サービス対応



2017年訪日外国人が2,869万人、さらに訪日外国人の年間消費額が4兆4,161億円となり、ともに過去最高の数字を記録しています。その消費の40%にあたる中国人旅行者への更なる決済サービス向上のために、マルチ決済端末「FP-1」は中国で約5.2億人のアクティブユーザーが利用するデジタル決済プラットフォームである「アリペイ」に対応しました。



業務車両用 Full HD ドライブレコーダ Tough More Eye X



事故や危険運転によるトラブル等、自動車に関連する重大事故が、大きな社会問題としてたびたびニュースに取り上げられ、運送事業者のみならず車両を保有する一般企業もドライブレコーダに対するニーズ・関心が非常に高まっています。中日諏訪オプト電子では、高画質化、車のIoT化が進む昨今の変化・ニーズにお応えし、高画質で豊富な外部インターフェースを備えた業務用ドライブレコーダ「Tough More Eye X」を発売しました。



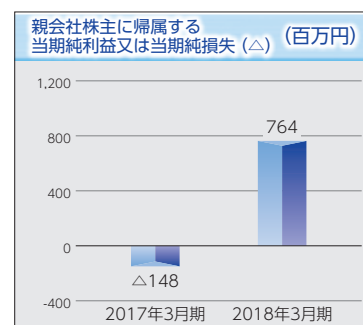
3タイプ仕様選択可能なウェアラブルカメラ EW-1



警備会社や設備メンテナンス会社等では、ウェアラブル端末やIoTを活用した作業支援や作業効率化を求めるニーズが高まっています。そうした中、エルモ社では、3タイプ仕様（クラウド接続、ネットワーク接続、USB接続）の選択が可能なウェアラブルカメラ「EW-1」を7月に発売します。



連結業績ハイライト



連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 当 期 2018年3月31日現在 |
|--------------|------------------------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | 11,300 |
| 固定資産 | 6,165 |
| 資産合計 | 17,465 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | 9,647 |
| 固定負債 | 2,095 |
| 負債合計 | 11,742 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | 5,225 |
| その他の包括利益累計額 | 497 |
| 純資産合計 | 5,723 |
| 負債純資産合計 | 17,465 |

連結損益計算書

(単位：百万円)

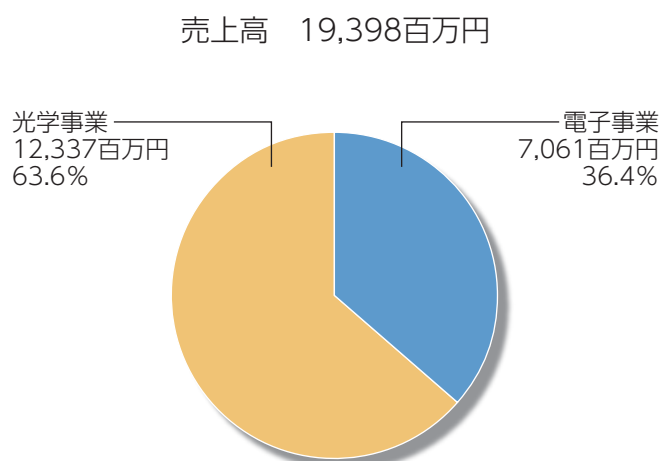
| 科 目 | 当 期 自 2017年4月1日 至 2018年3月31日 |
|-----------------|---------------------------------------|
| 売上高 | 19,398 |
| 売上原価 | 14,325 |
| 売上総利益 | 5,072 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,072 |
| 営業利益 | 1,000 |
| 営業外収益 | 161 |
| 営業外費用 | 51 |
| 経常利益 | 1,110 |
| 特別利益 | 133 |
| 特別損失 | 257 |
| 税金等調整前当期純利益 | 986 |
| 法人税等 | 221 |
| 当期純利益 | 764 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 764 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当 期 自 2017年4月1日 至 2018年3月31日 |
|------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,820 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △307 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,599 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 53 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △32 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,825 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,793 |

事業別売上高構成



株式の状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 50,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 21,063,240株 |
| 株主数 | 6,089名 |

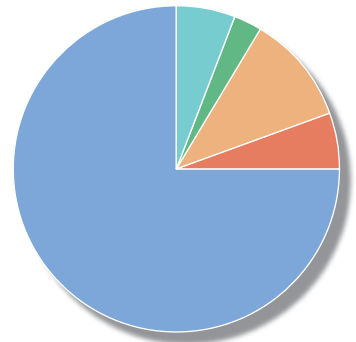
大株主

| 株主名 | 所有株式数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|---------------|-------------|
| 有限会社野村トラスト | 1,480 | 10.98 |
| 有限会社野村興産 | 585 | 4.34 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 515 | 3.82 |
| テクノホライゾン・ホールディングス従業員持株会 | 356 | 2.65 |
| CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW | 352 | 2.62 |
| 榑 泰彦 | 295 | 2.20 |
| 第一生命保険株式会社 | 290 | 2.15 |
| 株式会社大垣共立銀行 | 264 | 1.96 |
| 榑 信之 | 236 | 1.76 |
| 榑 雅信 | 227 | 1.69 |

(注) 1. 当社は、自己株式7,585千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別状況

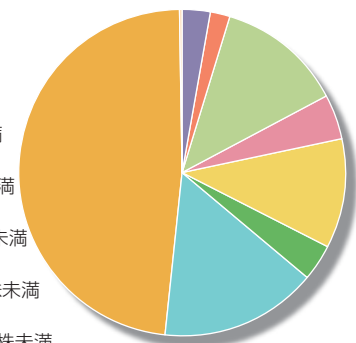
| | | |
|----------|----------|--------|
| 金融機関 | 1,233千株 | 5.86% |
| 金融商品取引業者 | 609千株 | 2.89% |
| 国内法人 | 2,280千株 | 10.83% |
| 外国法人等 | 1,158千株 | 5.50% |
| 個人・その他 | 15,780千株 | 74.92% |



(注) 自己株式7,585千株は、「個人・その他」に含めて記載しております。

所有数別状況

| | | |
|-----------------------|----------|--------|
| 100株未満 | 8千株 | 0.04% |
| 100株以上～500株未満 | 585千株 | 2.78% |
| 500株以上～1,000株未満 | 449千株 | 2.14% |
| 1,000株以上～5,000株未満 | 2,626千株 | 12.47% |
| 5,000株以上～10,000株未満 | 945千株 | 4.49% |
| 10,000株以上～50,000株未満 | 2,273千株 | 10.80% |
| 50,000株以上～100,000株未満 | 769千株 | 3.66% |
| 100,000株以上～500,000株未満 | 3,238千株 | 15.38% |
| 500,000株以上 | 10,165千株 | 48.24% |



2018年6月28日現在

役員紹介

代表取締役社長 野村 拓伸
常務取締役 水上 康

社外取締役 玉置 浩一
社外取締役 寺澤 和哉

常勤監査役 渡邊 哲也
社外監査役 原田 彰好
社外監査役 飯田 浩之
社外監査役 井上 龍哉

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 (1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日
(2) 中間配当を行う場合 9月30日
(3) その他必要があるときには、あらかじめ
公告して臨時に基準日を定めます。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
郵 送 先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子公告により行います。
公告掲載URL <http://www.technohorizon.co.jp>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告
によることができない場合は、日本経済新聞
に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

〒457-0071
愛知県名古屋市中区千代通（チカマトオリ）二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)

